

その他の非鉄金属製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故 の 型	労働者 規模
2017	1	11~ 12	取引先へ配達中、路面が凍結している事に気が付かず、誤って足を捻って転倒し、左足首（くるぶし部分）を骨折した。	44	719	2	10 ~ 29
2017	1	10~ 11	当社工場内においてアルミ部品のプレス加工作業中、他の事を考えていて加工部分に指を伸ばしたまま作業ペダルを踏んでしまい、右中指の先をプレス金型と加工部品の上に挟み負傷した。	58	154	7	10 ~ 29
2017	1	16~ 17	作業場にて、普段より少し重い1.75kgの導波管を伸ばす作業をしている際、両足を踏ん張り、導波管を引っ張っている時に腰の周辺の筋を捻ってしまい、腰痛を引き起こした。	50	521	19	100 ~ 299
2017	2	14~15	事業所にて、ベルトコンベアの銅線の仕分作業中に銅線が誤って左手中指に刺さり負傷したものである。	66	521	8	10 ~ 29
2017	2	11~12	機械加工場内で工作機械作動中に鉄柱を機械の隙間を通り、奥に工具を取りに行った。奥から戻ろうとした時にちょうど機械がXプラス方向一杯（機械と鉄柱の間10cm）になってしまったため、上半身が機械と鉄柱の間に挟まってしまい右耳部と左側頭部を裂傷、及び左肋骨を骨折してしまった。	58	152	7	50 ~ 99
			当社工場にて派遣労働者がプレス機（YMGP6-DX）を使い、足場部品（240×1200）の穴明け作業中に穴明け部分を変更する時に、本				10

2017	2	11~12	来手を入れないところへ手を入れた状態で、誤ってフットスイッチを踏んでしまい、右手親指の爪部分を負傷してしまった。フットスイッチは一作業毎に足を外すように注意していた。	24	154	8	~ 29
2017	3	21~22	ケーブルの試作で押出中に線の緩みがあるのを発見し、修正しようと線を押し込んだところ、ケーブル引き取りキャプスタンに右上腕を挟まれた。本人が大声を出し、近くにいた作業者が非常停止ボタンを押して設備を停止させ、数名で挟まれた右上腕を取り出し、救急搬送した。	43	169	7	~ 299
2017	3	12~13	掃除時間より前だったが、SD-6型機械内部をウエスで拭き掃除中、ウエスを機械内部に落としたので、手を伸ばして取ろうとした。片足（右足）立ちの状態で、反動をつけて取ろうと前かがみになり、手を伸ばした時、右足ふくらはぎを痛めた（右足ふくらはぎ筋肉の断裂）。	49	921	19	~ 99
2017	3	11~12	工場内にて研磨機で商品を研磨する際、商品が倒れてきたので商品と研磨機の間で左手の中指がはさまれケガをする。	41	529	1	10 ~ 29
2017	4	16~ 17	310トリーター設備の巻出しにある直径300mm、長さ1,350mm、重量約35kgのFRP管をクレーンで移動後、製品台車近くの床に仮置きしたFRP管を、屋内クレーンを使用すると時間がかかるので、一人で手で持ち上げようとして低く屈んで踏ん張ったところ、急性腰痛症になった。	41	911	19	~ 299
2017	4	14~ 15	事務所アルミ工場にて、アルミ電線を切断中、皮手袋が挟まり、右中指・環指・小指を切断した。	58	159	8	50 ~ 99
2017	4	9~ 10	保全作業場にて旋盤機で研磨作業中、軍手をした右手にサンドペーパーを持って、回転している鉄製の棒を磨いていたところ、サンドペーパーと回転している棒との間に軍手の一部が巻き込まれ、咄嗟に手を引き抜いたが右手中指・薬指を切断、小指を裂創した。	63	151	7	30 ~ 49

2017	4	10～ 11	高速カッターで木材を切断する際、切断した木材を取る時にカッターの刃の下から取り出そうとしたので持ち上げた時、手の甲がカッターの刃に当たり負傷した。	53	139	8	10 ～ 29
2017	5	10～ 11	当社工場内加工場にてプレス作業中に、指先に滑り止めの付いた保護手袋がプレスの部品に引っ掛かり、右手人差し指の先を切ってしまった。	69	154	8	1～ 9
2017	5	16～ 17	皮むき屑をピンチロールで引っ張り、チップカッターにて自動切断作業中、ピンチロールで引っ張らなくなったのを発見した。そこで、右手にて皮むき屑をあやしたところ、急に引っ張りだし、手袋と共にピンチロールに引き込まれ被災した。なお、通常とは反作業側であった。	22	163	7	100 ～ 299
2017	5	17～ 18	リーチフォークリフトを構内作業中に、構内のラックから電線ドラムを荷卸しし、乗車していたリーチフォークリフトを停車させるため移動し、壁近くにて停車させる際に、リフトが完全に停止する前に左足をリフトから出してしまい、壁とリフトの間に左足首を挟まれた。	39	222	7	30 ～ 49
2017	5	11～ 12	工場内で抽伸機の型を交換中、誤ってキャレッジ戻しのレバーを作動させてしまい、キャレッジが戻ってくる位置に左足を置いていた為、鉄壁とキャレッジの間に左足を挟み負傷した。	44	159	7	30 ～ 49
2017	6	11～ 12	工場内にてプレス作業中、誤って右手人差し指を挟んでしまった。	43	154	7	1～ 9
2017	6	23～ 24	手狭な分級工場合金室内で、2400L空ドラムを定位置に移動し、安置のために微調整をかけている時に荷振れが発生し、床面に固定してある混合器と、移動させていた空ドラムに左足を挟まれ、左足くるぶし内側を骨折した。原因は、大きな荷振れを発生させてしまった事、室内が狭くて物が溢れていた事、移動対象との距離が取れず、かつ周囲の物にぶつけないで移動させると言った細かな作業が求められた事によるものである。	46	162	7	100 ～ 299

2017	6	14~ 15	本社仕上工場内で、仏具をバフイングマシンで研磨作業中、砂バフの交換時に、電源スイッチを切らずに回転させたまま取り外しを行った為、左手軍手がシャフトとボルトに絡まり、左手首が巻き込まれた。	22	153	7	30 ~ 49
2017	6	11~ 12	降ろし作業中に耳加工行きのコロコンが詰まったため、素材をパレットに積みに行こうとした。積み下ろしまでの通路はあったが、ショートカットをしようと、コロコンを跨ごうとした際に、左足がコロコンのローラーの間に入り、圧迫により挫傷した。	30	391	3	100 ~ 299
2017	7	10~11	構内において、アルミホイル減容（アルミホイルを破碎する）作業中、ベルトコンベアーで、ホッパー内にアルミホイルが投入される際（通常は自動投入）、ベルトコンベアー先端部でアルミホイルが引っ掛かり、自動投入されなかったため、アルミホイルの引っ掛かりを直ちに減容機上に梯子で登ったところ、アルミホイル減容機上に油が垂れていたため、油により足が滑りバランスを崩して転落し、右足を負傷した。	45	391	1	10 ~ 29
2017	7	15~ 16	倉庫で片付け作業をしていた際に、金属箱を別の金属箱に収納するときに掛けていたフックが外れ、指を挟み、左小指を切断した。	48	211	7	1~ 9
2017	9	12~ 13	屋内階段部で昼食弁当の運搬を女性職員1名が運搬容器（L680mm×W410mm×h125mm、重量約3kg）を両手で持った状態で、階段を下りていた際に左足を滑らせ尻餅をつくような姿勢でその場に着地。翌日、本人が体の痛みを訴えたため病院受診をさせた結果、腰部の打撲と診断された。	19	413	1	100 ~ 299
2017	9	14~ 15	階段式ステージに上り、高所に位置する原料投入口から残量を確認後階段を下りる際、足を滑らし階段から落下した、落下の際、右手で体を支えようとし、落下の衝撃で右腕を骨折した。	36	413	1	10 ~ 29
2017	10	14~ 15	建屋貫通部調査のため、トレンチ内（暗所）を移動中に、被災者が対処の貫通部に近づこうとしたところ、開口部に気付かずピット内	42	418	1	30 ~

			へ落下した。				49
2017	10	11~ 12	当社工場内に於いて高さ1.8mの棚上の荷物を降ろす作業中、フォークリフトで棚の高さ近くに上げたパレットCの上に2人で荷物を移動していた際、棚上のパレットBに乗っていた被災者が、隣のパレットAに片足を乗せた時パレットAがずれ、バランスを崩した被災者がリフトで上げたパレットCの縁を掴んだところに、パレットAが落下して、その間に左手を挟まれ骨折した。棚上のパレットAは少し斜めになっていた為、不安定な状態だった。パレットA（鉄製）＝1.5m×1.2m、荷物＝操作パネル（1.4m×0.4m）。	64	379	2	30 ～ 49
2017	10	11~ 12	工場内で中腰になりながら金型加工機械（高さ30cm）の下にある油をためる入れ物を片づけたりホウキで機械の下を掃いていたところ、次第に腰が痛みだし動けなくなった。	43	921	19	10 ～ 29
2017	11	11~ 12	幼稚園2階音楽ホールから避難訓練のため、園庭に降りる時階段上部2段目より左足を踏み外し、左足甲部分を骨折した。	68	211	7	1~ 9
2017	11	16~ 17	第一工場撚線工程Y-17号機の元材切替作業時に、カバーを開けた状態でリミットスイッチを押し、寸動にて結び目を撚線機に入れている最中に結び目が断線し、反射的に回転している装置内に右手を入れてしまった。	51	169	6	50 ～ 99
2017	11	13~ 14	仕上げ職場で、プロペラボス側面から翼にかけて、手持ちグラインダーで研磨をしている時、中腰の状態では右手はグラインダーのセンターハンドル、左手は本体下側を持って、横がけで作業をしていた時、グラインダーが研磨面に出来た段差に引っ掛かり、その拍子に体のバランスを崩し、咄嗟に左手がグラインダーから外れ左手首にグラインダーのディスクが接触し裂傷した。	38	153	8	10 ～ 29
2017	12	9~10	工場にて設備をビニールシートで養生する為、梯子を使用し、設備上に上ろうとした所、梯子が倒れ、被災者も同時に高さ1.7mから転落し、頭を強打した。	34	371	1	300 ～ 499
			工場では積荷作業が終わり、小雨のためシート掛けを行っている際、				

2017	12	16~17	シートを引っ張っていて、するっと抜けたようになり、後あおりに足が引っかかった状態で、路面へ肩口辺りから後ろ向きに転倒した。事故の原因は、トラックの荷台が雨で濡れて滑りやすくなっていたこと、シートが雨に濡れて重たくなっていたので力一杯引いたがするっと抜けてしまったこと、慣れた作業なのでこのくらいの力を入れないとシートが伸びないと思い込んでしまったことにある。	59	221	1	1~9
2017	12	21~22	工場結晶1課K4棟結晶引上室内No.426炉にて、炉内の清掃作業中、フラッパーを開き、排気口部に閉塞がないことを目視で確認後、掃除機を突っ込んだ際に、排気口内に目視では確認できなかった未燃SiOがあったと推測され、掃除機による吸引で急速燃焼が起こり、火柱が上がるような状態となり、火傷を負った。	34	321	11	100~299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html